

調査観測計画部会の調査審議状況について

平成 18 年 2 月 17 日

調査観測計画部会

調査観測計画部会では、現在、高感度地震観測網の今後のあり方、及び機動的な地震観測データの公開・保存に関する基本方針について調査審議を進めている。

1. 高感度地震観測網の今後のあり方について

調査観測計画部会基盤的調査観測の観測体制に関するワーキンググループでは、基盤的調査観測網が老朽化しつつあることを踏まえ、高感度地震観測網の現状を確認するため、独立行政法人防災科学技術研究所、国立大学法人、気象庁を対象に、今後数年以内に廃止する予定の観測点についてアンケートを実施した。今後、同アンケート結果をもとに、高感度地震観測網に関する今後のあり方を取りまとめる予定である。

2. 機動的な地震観測データの公開・保存に関する基本方針

調査観測計画部会調査観測データ流通・公開推進専門委員会は、平成 17 年 10 月、機動的な地震観測により得られるデータが今後大幅に増加すること等を踏まえ、その公開・保存方針について検討するため、「機動的な地震観測データ公開ワーキンググループ」を設置した。同ワーキンググループでは、機動的な地震観測を実施している専門家を招聘し、今後の機動的な地震観測データの公開・保存に関する基本方針の策定に向けて、文部科学省からの委託事業で行われている機動的な地震観測をモデルケースとして取り上げて検討を行っている。